

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.133

12|1
2016・2017



CREATOR'S VOICE 152
上野水香 東京バレエ団〈ウインター・ガラ〉

撮影:末武和人

5 Rooms— 感覚を開く5つの個展 神奈川県民ホールギャラリー
華やかな舞台と音楽で 極上のクリスマスの思い出
800年の時を超え幽玄の世界に誘う 鎌倉・鶴岡八幡宮の御神楽

隔月刊:奇数月15日発行

「ボレロ」は、だれでも踊れる、なんて生易しい作品じゃないんです。踊るたびに違う世界が広がります。

お客さまには踊っている瞬間の「私」を感じていただければうれしいです。

東京バレエ団 〈ウィンター・ガラ〉

神奈川県民ホール

上野水香

東京バレエ団 プリンシパル



モーリス・ラヴェル作曲「ボレロ」にモーリス・ベジャールが振り付けたバレエ作品「ボレロ」は、モーリス・ベジャール・バレエ団が許可したダンサーしか踊ることを許されていない特別な作品だ。上野水香は、20世紀を代表する振付家であるベジャールから直接指導を受け、日本の女性ダンサーで唯一踊ることのできる稀有な存在。これまで彼女は、神奈川県では「横浜ベイサイドバレエ」の野外ステージで2回「ボレロ」を踊ったことがあるが、神奈川県民ホールで踊るのは初めてとなる。

ベジャールから直接指導を受けた幸せな体験

——「ボレロ」を最初に踊ったのはいつですか？

2004年ですね。東京バレエ団に入ってからすぐの海外ツアーが最初です。東京バレエ団の国内外のツアーで「ボレロ」

はもう何度も踊っています。

——ベジャールさんの指導は？

映像を見ていただいて許可は得ておりましたが、モーリス・ベジャール・バレエ団がその年に来日しており、ベジャールさんが日本にいらしていたので直接見ていただく機会に恵まれました。

「この動きだよ」「このところを注意するんだよ」という細かな指導も受けましたが、ベジャールさんが大事にしていたのはスピリットの部分でした。彼はそれを表現できるダンサーを求めていますし、表現してほしいと切に思っていました。目の前にベジャールさんが座って私をじっと見つめているあの空間に、いることで、私は作品を理解できたと思います。ベジャールさんは「とてもいい」と言ってくれましたし、「いいボレロになるだろう」という言葉をいただきました。あの時は、東京バレエ団に入ってから間もない頃で、広いお稽古場で団員が周りを囲むように見えて、ベジャール

上野水香 Mizuka Ueno

ローザヌ国際バレエコンクールに15歳で入賞し、モナコ留学。2004年、東京バレエ団入団。07年よりかながわ観光親善大使。神奈川県民ホールでは14年に自身初のプロデュース公演「Jewels from MIZUKA」を成功させ、「ファンタスティック・ガラコンサート」に08年より毎年出演、17年2月には東京バレエ団〈ウインター・ガラ〉に出演予定。





さんのドキュメンタリーを撮っているフランスと私の「トップランナー」のVTRを収録中の日本のテレビカメラも入っていて大変な雰囲気だったんですよ(笑)。
——目の前にいるベジャールさんははわかったですか？

いいえ、とても穏やかでした。一番印象に残っているのはブルーの瞳です。広い海か空が広がっているかのような瞳をしていらしたんです。奥の方がすごく澄んでいて、とてもピュアで吸い込まれそうでした。

——「ボレロ」は踊るダンサーによって印象が全然異なりますね。

本人が意図しなくても、その時のダンサーのありのままが出てしまう作品なのだと思います。シルヴィ・ギエムがそうだったように、同じダンサーでも年を経ることで受ける印象が変わってきますよね。偉大なアーティストならみなそうだと思うのですが、うまいへたなどというレベルではなく、自分らしい踊りを追求している。シンプルな振付だからこそそれが強く出る。だれでも踊れる、なんて生易しい作品ではないんです。

私も世界の舞台で踊る機会が増えてから、自分らしい踊りとか、私の個性って何だろうと考えるようになりました。主

役を踊り始めた頃ほどにかくきれいに踊りたいと、そればかり考えていたんですが、意識が変化してきている今の私が「ボレロ」では現れているのだと思います。そういう「私らしさ」「私のバレエ」を見ている人に感じさせることができなければ、海外の方がわざわざ私を呼んでくださったりしないと思うんです。

「ボレロ」は踊るたびに感じる心が全く違う

——「ボレロ」を踊っている時にどんなことを感じているのでしょうか？

踊るたびに全く違うことを感じているんです。

赤い台は自分だけの小さい宇宙、だれにも侵されることのない自分だけのもの、と思ってそこで踊ることとてつもない解放感に達することがありました。あとは生まれてから死ぬまでの自分の人生を踊ったような感覚になった時もありました。曲は単調だけれどドラマティックなので、音楽を感じているうちに人生を踊っているような気持ちになったのかもしれませんね。踊り始めの頃は、周りのリズムの人たちを誘惑している気になったのですが、彼らから誘惑されてい

東京バレエ団

〈ウィンター・ガラ〉

2017年2月25日(土) 15:00 神奈川県民ホール〈大ホール〉

「ボレロ」 振付:モーリス・ベジャール 音楽:モーリス・ラヴェル

「中国の不思議な役人」 振付:モーリス・ベジャール 音楽:ペラ・パルトーク

「イン・ザ・ナイト」(東京バレエ団初演) 振付:ジェローム・ロビンズ 音楽:フレデリック・ショパン

出演:上野水香 柄本 弾 宮川新大 木村和夫 他

※音楽は「イン・ザ・ナイト」のみピアノ演奏、他は特別録音による音源を使用

全席指定 S 9000円 A 7000円 B 5000円 C 3000円 学生(24歳以下)2000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※有料託児サービスあり公演1週間前までに要事前予約

イベント託児マザーズ 0120-788-222 (土日祝日を除く10:00~12:00/13:00~17:00)

くエネルギーに逆にやられて自分が滅びてしまっ、なんて感じたこともありました。また集中しすぎてしまった時があった。その時は円形の台が筒型にバリアのようになってしまい抜け出せなくなるという恐怖に陥ったこともありました。本当にそのときの体調、精神状態などによりさまざま感覚を経験しています。他のダンサーもみなさん同じなのではないでしょうか。

毎回何かを考えながら踊っているというのとは違うんです。振付は完全に自分の体に入っていて、踊っていると振付から自由に解き放たれていきます。自分そのものでいられる時間、というのでしょうか。そこで人生を感じるというような無意識の感覚が踊りながら働いているんです。

——「ボレロ」は好きな作品ですか？

自分のレパートリーの中の大事な作品です。踊ってみたいとすごく憧れていたけれど、好き、というには大きすぎるし深い作品です。男性ダンサーが踊った方が力強くて迫力あると思えてしまい、考えれば考えるほど私はああはできないからやりたくない、などと苦しむこともあります。でも自分だけのもの、自分しかないものを出せればいいんだ、と思え

ようになりまして。踊る回数を重ねてすばらしいパフォーマンスができるよう深めていきたいです。

県民ホールで踊る時はどんな状態になるのか、自分でも全く予想できないんですよ。私の「ボレロ」は、柔らかくしてしなやかと言われます。それが私の持ち味なのでしよう。踊っている瞬間の「私」を感じ取っていただければと思います。

年末恒例、神奈川県民ホールの「ファンタスティック・ガラコンサート」

——今年ももちろん「ファンタスティック・ガラ」で活躍されますね。

あのガラ公演をやらなければ年は越せません。これは私だけでなく、指揮の松尾葉子先生や司会をするオペラ歌手の宮本益光さん、出演者はみな同じ気持ちです。今年「エスメラルダ」を踊ります。初めて役です。15歳くらいの頃にバリエーションだけ発表会で踊ったことがあるのですが、それ以来なのです。役のカラーが私に合っているのではないかと、うのと、踊りたいという思いから決めました。そしてもう一作品「リベルタンゴ」を踊ります。これは再演なんです、

とても好評だったのでお客様の熱いアンコールにお応えします。ここでは神奈川県民ホールのソロ・コンサートマスター、石田泰尚さんとの初共演も楽しみにしています。お客さまも、ぜひ出演する私たちと一緒に楽しみてください。

my hall myself

私にとっての神奈川県民ホール

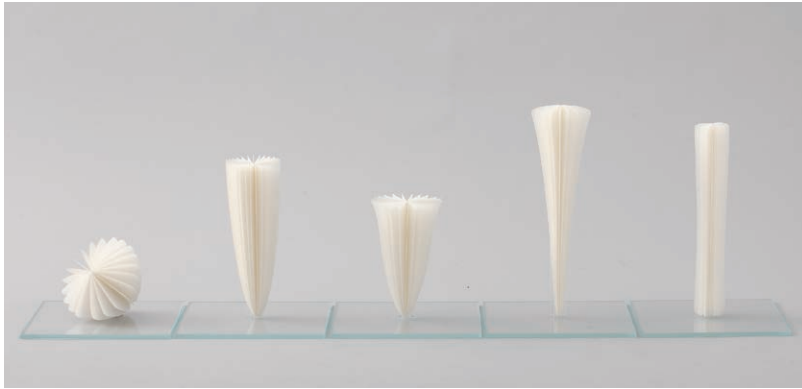
鎌倉に住んでいる私にとって一番近い大きな劇場は神奈川県民ホールで、小さい頃からなじみ深く親しみのあるホールです。最近では毎年年末に行われる「ファンタスティック・ガラコンサート」に出演して、ホールへの親近感もぐっと増しました。また私の夢だった自分のガラ公演「Lovers from MINUKA」をこのホールで実現させることもできました。

取材・文:結城美穂子/撮影:末武和人

WEB
+α!WEBでも「プレス」が読める!
www.artspress.jpWEB版だけのプラスα
コンテンツもいっぱい!

動画やインタビュー続編は…

このマークを
チェック!WEB
+α!



出和絵理 〈Forest〉 2011年

5 Rooms 感覚を開く5つの個展

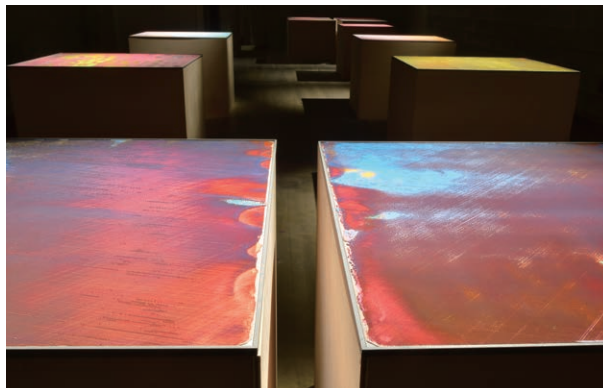


神奈川県民ホールギャラリー

私たちは日々多くの物事を選択し、判断し、行動します。その中でなんとなく腑に落ちないまま、無意識のうちに自分を言いくるめてやりすごしてしまっていることはありませんか？ 人間の「頭」はあらゆる事をコントロールしたがるという特徴があり、ともすれば自分自身が「心」や「身体」で感じた事にさえ干渉してしまうことがあります。

本展覧会では「頭」で作られたテーマにあわせて作品を選ぶのではなく、作品と向き合い「心に響くか」という直観に従い5人の作家を選びました。圧倒的な力で私たちの感覚を揺さぶる作品は、鑑賞する人々の記憶と結びつき、さまざまな感情を呼び起こすことでしょう。

第1展示室は、紙のように薄くのびた真っ白な磁器を組み立て、繊細な造形を生み出す出和絵理（1983）。光と影の織りなす静謐な空間は、出身地・石川県の雪景色を思わせるような澄んだ緊張感をもたらします。第2展示室は、漆と真正面から向き合い、そのあり方を問い続ける染谷聡（1983）。どこかで拾った小枝や石や針金などの「ありもの」と「漆」を、遊び心を交えた独自の手法で関係させ、存在の奥行きを引き出してみせます。第3展示室は、細かく描かれたドッ



小野耕石 〈Hundred Layers of Colors〉 2016年



齋藤陽道 〈あわい〉 2016年



染谷 聡 〈からくさ〉 2016年

photo: Takeru Koroda

5 Rooms—感覚を開く5つの個展

2016年12月19日(月)～2017年1月21日(土) (12月30日(金)～1月4日(水)休館)

10:00～18:00 (入場は開場の30分前まで)

神奈川県民ホールギャラリー

一般 700円 学生・65歳以上 500円 高校生以下無料 ほか団体割引等あり

※チケットかながわでの取り扱いなし

イベントなどの詳細はHPをご覧ください。www.kanakengallery.com/

関連記事 P14のコラム「美術の小箱」もご覧ください。

トを100回ほどインクで刷り重ねると
いうシルクスクリーンによる手法で独自の表現を開拓する小野耕石(1979)。
鍾乳石のように突き出る無数のカラフルなドットは、見る角度によってさまざま
な表情に変わり視覚を興奮させます。第
4展示室は、写真という手段によって
見る人の記憶の奥深くをゆさぶるような
イメージを紡ぎだす齋藤陽道(1983
)。生命のうつろい、存在の輝き、森
羅万象の不思議に向けられた作家の眼差
しが、私たちが日頃忘れてしまいがちな
感覚を呼び起こします。最も広い第5展
示室は、不要になったビニール袋や廃油
から作った石けんなどを使って、各地で
印象的なインスタレーションを展開して
きた丸山純子(1976)。700㎡の
広大な空間に「死を思つ」をテーマとする
壮大なインスタレーションを制作します。
会期中には作品展示だけでなく、作家
によるトークや、「視覚障害者とつくる美
術鑑賞ワークショップ」などのイベント
も開催します。神奈川県民ホールギャラ
リーの5つの部屋で開かれる本展が、感
覚を開き、自分で感じ、自分で考えるた
めの場になることを願います。

文・森谷佳永

(神奈川県民ホールギャラリー担当)



丸山純子 〈Highsealand〉 2013年



森下洋子
刑部聖矢
©エーアイ



松山バレエ団「くるみ割り人形」

©エーアイ



世代を超えて歌声が響きあう
音楽堂「メサイア」(昨年の公演から)

©青柳聡

華やかな舞台や音楽とともに過ごすクリスマス 大切な人と、かけがえのない思い出を

神奈川県民ホール

神奈川県立音楽堂

街がイルミネーションで輝き、世界中の人々が家族や友人と集い、新たな年の訪れを待ち望むこの季節。誰の心にもきつと秘められているクリスマスの思い出、今年は大切な人とともに華やかな舞台や音楽を楽しむ、一味違うものにしてみてはいかがでしょう。クリスマスにおすすめの3公演をご紹介します。

「ハレルヤ」を知らない人はいないでしょう。救世主キリストの誕生から受難、復活までを描いた壮大な音楽ドラマ、「オラトリオ『メサイア』」の第2部の最後を飾る曲です。作曲家ヘンデルはバッハと同じ年のバロック時代の巨人ですが、当りきつてのエンターティナーでもありません。教会ではなく街中のホールでのチャリティ演奏会のために作られ、人々の救済というテーマ、生の喜びに満ちた音楽で、いつしか世界中でクリスマス時期に愛唱されるようになっていきました。

神奈川県立音楽堂でも、開館間もない1954年12月、山田一雄の指揮で東京藝術大学により演奏されたのを皮切りに、66年から現在まで50年続くクリスマス伝統の演奏会として愛され続けてきました。2011年からは県内高校生が参

加し、伝統を次の世代へ継承する「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト」を開始。5年かけて少しずつ歌唱曲目を増やし、昨年ついに全曲歌唱を達成しました。今年も光陵、湘南、多摩の三つの県立高等学校が歌唱に加わります。木のホール音楽堂を包む、ベテラン世代と未来を担う若い世代が歌い上げる響きは圧巻です。

クリスマス之夜を舞台にした不朽の名作といえば、世界三大バレエの一つ「くるみ割り人形」です。純粹な少女クララが、魔法によって醜い人形に姿を変えられた王子と出会い、その魔法を解く貴重な体験を通じて少女から大人の女性へと一歩を踏み出す、愛と成長の物語です。

神奈川県民ホールで松山バレエ団がお届けする全幕。清水哲太郎の演出・振付は、少女クララが一個の人間として大きく成長して行くプロセスを描きます。クララの魂の深化・浄化・純化のプロセスを演じるのは、今年舞踊歴65周年目を迎えるプリマ・バレリーナ森下洋子。チャイコフスキーの旋律が全編を貫き、賑やかなクリスマス・パーティーから雪のワルツの糸乱れぬ群舞まで、クライマックス続きの豪華な舞台が繰り広げられ、客席を夢の世界へと引き込みます。ア



布施雅也(テノール)



鶴木絵里(ソプラノ)



高橋博子(オルガン)



クリスマスツリーがきらめくステージは毎年好評 ©青柳聡

●第51回クリスマス音楽会 「メサイア」全曲演奏会

2016年12月11日(日) 14:30 神奈川県立音楽堂

出演:山口清子(ソプラノ) 上杉清仁(カウンターテナー)

中嶋克彦(テノール) 加未 徹(バリトン)

長久真実子(チェンバロ) 宇内千晴(オルガン)

指揮:小泉ひろし 演奏:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

合唱:神奈川県合唱連盟

音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団

(神奈川県立光陵、湘南、多摩高等学校)

全席指定 1500円



●松山バレエ団 Xmas公演 「くるみ割り人形」全幕

2016年12月23日(金・祝) 15:00 神奈川県民ホール〈大ホール〉

出演:森下洋子 刑部星矢 松山バレエ団

指揮:河合尚市 演奏:東京ニューフィルハーモニック管弦楽団

全席指定 S 10000円 A 8000円 B 6500円 C 4500円

S子供券(3歳~小6)5000円 S親子券(S+子供券)14000円

学生(Cのみ・中学生~24歳までの学生)2000円

ほか各ペア券、シニア券等あり

※シニア券は60歳以上対象。当日年齢確認のできるもの持参

※S子供券・親子券は電話、窓口のみ取扱い

※学生券は当日学生証ご提示をお願いの可能性あり

松山バレエ団公演事務局 03-3408-7939

●オルガンクリスマスコンサート 聖母マリアとノエル

2016年12月24日(土) 15:00 神奈川県民ホール〈小ホール〉

出演:高橋博子(オルガン) 鶴木絵里(ソプラノ) 布施雅也(テノール)

曲目:グレゴリオ聖歌よりアヴェマリア ♡

ドゥ・サン=マルタン:「マリア交響曲」より 前奏曲

フランク:天使の糧 ♡ ♡

ヘンデル:「メサイア」より ♡ ♡

フンパーディング:「ヘンゼルとグレーテル」より ♡ ♡

ジグー:ノエルによるラブソディ

クリスマスキャロルメドレー ♡ ♡

ボルシュテルマン:クリスマスツッカータ 他

♡ソプラノ共演 ♡テノール共演

全席指定 一般3500円 ペア(一般2枚)6500円

学生(24歳以下)2500円

※学生券はチケットかながわのみで取扱い(枚数限定)

※「メサイア」と「オルガンクリスマス」は未就学児入場不可

有料託児サービスあり

(公演1週間前までに要予約 イベント託児マザーズ 0120-788-222)

※「くるみ割り人形」は3歳以上入場可(但し入場料が必要)

ンコールは松山バレエ団オリジナル、クリスマス・メロディーをメドレーで綴った「ジングルベル組曲」です。

クリスマスインヴの午後には県民ホール小ホールの人気公演「オルガンクリスマスコンサート」をお楽しみください。

今年は「聖母マリアとノエル」をテーマに「ベル・エポック」といわれた時代にパリで活躍した作曲家たちが紡ぎだした、個人的でどこか懐かしいメロディーを集めました。前半は聖母マリアへの讃歌、後半は「ノエル(クリスマス・キャロル)」、さらに「メサイア」と同様欧米でこの時期

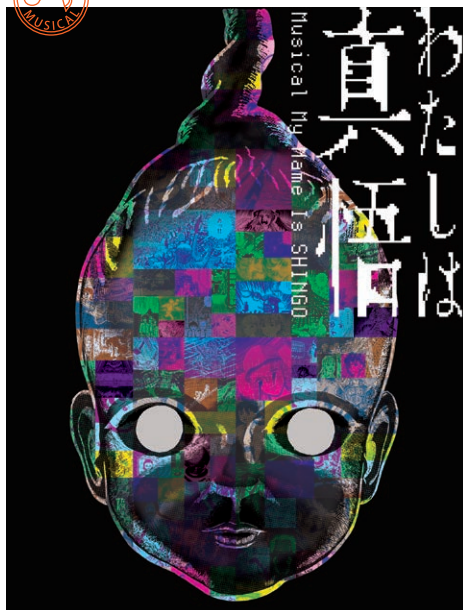
の定番である「ヘンゼルとグレーテル」の抜粋も交え、高橋博子(オルガン)と、鶴木絵里(ソプラノ)、布施雅也(テノール)の輝かしいハーモニーをお贈りします。

ヨーロッパのクリスマスの教会では、人々になじみ深いノエルのメロディーを用いて作曲家兼オルガニストたちが即興演奏を披露し、人々を楽しませてきた伝統があります。今年は県民ホールでも、オルガンと響き合う歌声に包まれながら、教会やサロンで大切な人々とクリスマス



ミュージカル
「わたしは真悟」

KAAT神奈川芸術劇場



奇跡は誰にでも一度おきる
だがおきたことには誰も気がつかない
少年と少女は恋をした。二人は子ども
をつくるため、東京タワーから飛び降
りた――

“神とは何か、“意識とは何か、“人間
とは何か”といった形而上学的テーマに
挑んだ椋図かずおの名作を、アルペー
ルビル冬季五輪の開閉会式の演出で世
界を驚かせたフィリップ・ドゥクフレ
の演出・振付で、ミュージカル化。天
才的クリエイター二人に加え、演出協
力としてKAAT神奈川芸術劇場の芸
術監督・白井晃も参加します。俳優陣
にも、舞台上で培った演技力と透明感あ
ふれる歌声で活躍を続ける高畑充希や

本作がミュージカル初挑戦となる門脇
麦をはじめ、個性的でフレッシュな俳
優陣が勢ぞろい。一癖も二癖もあるユ
ニークな面々が創り出す、誰も観たこ
とのないミュージカルにどうぞご期待
ください！

2016年12月2日(金)・3日(土)〈ホール〉
原作:椋図かずお「わたしは真悟」(小学館刊)
脚本:谷 賢一
演出・美術:フィリップ・ドゥクフレ
音楽:トクマルシューゴ/阿部海太郎
歌詞:青葉市子
演出協力:白井 晃
出演:高畑充希 門脇 麦/小関裕太 大原櫻子/成河
田鍋謙一郎 奥村住恵 斉藤 悠 宮 菜穂子
水野栄治 江戸川萬時 清家悠圭 加賀谷一肇
碓井菜央 工藤広夢 引間文佳 鈴木 竜
全席指定 S 9500円 A 6500円 B 5000円

「ルーツ」

KAAT神奈川芸術劇場



松井 周

©平岩 亨



杉原邦生

©Takashi Horikawa

2016年12月17日(土)～26日(月)
〈大スタジオ〉
脚本:松井 周(サンプル)
演出・美術:杉原邦生(KUNIO)
出演:石田圭祐(文学座) 猪股俊明 内田淳子 金子岳憲
北川麗 (中野成樹+フランケンス) 洪 雄大 (中野成樹+フランケンス)
中山求一郎 成田亜佑美 南波 圭(なんばシスターズ) 新名基浩
能島瑞穂(青年団) 長谷川洋子 日高啓介(FUKAIPRODUCE羽衣)
山崎皓司(FAIFAI) / 銀粉蝶
全席自由・整理番号付 前売4000円 当日4500円
U24 (24歳以下) 2000円 高校生以下1000円(前売のみ)

私たちはどこから来てどこに向かうの
か？ 現代日本の縮図のような、過疎
の集落における希望と絶望の物語。
微生物の発見や新しい生命の誕生は、
この集落をはたして再生に導くのか？
これまでの、そして、これからの共同
体の姿を問う意欲作。
KAAT神奈川芸術劇場では白井晃芸
術監督の下、新たに若手の演出家たち
との展開に取り組みます。
その第一弾として、自身のプロデュ
ースユニットKUNIOで著しい活躍を
続ける若手演出家、杉原邦生に焦点を
あて、松井周の書き下ろしによる新作
の上演を行います。さまざまな若手劇
団で活躍する俳優たちとベテラン俳優
陣、そして初タッグを組む杉原邦生×
松井周、初顔合わせのスタッフ陣も加
わり、KAATプロデュースで作品創
りに挑みます。



神奈川県民ホール 年末年始スペシャル ファンタスティック・ガラコンサート2016 至極のオペラ&バレエ

神奈川県民ホール

オペラ、バレエ、オーケストラの名作を一度に楽しめる年末恒例のなんとも贅沢なガラコンサート。今年も華やかな出演者、演出がずらりと並びます。指揮の松尾葉子をはじめ、司会も務めるバリトンの宮本益光、東京バレエ団のプリンシパルの上野水香など実力者たちが今回も登場。そのほかに3月の神奈川県民ホール・オペラシリーズ「魔笛」で夜の女王を演じるソプラノ高橋維、二期会「イル・トロヴァトーレ」のマンリーコで鮮烈なデビューを果たしたテノール城宏憲、2015年日本音楽コンクールで優勝したトランペットの新星・守岡未央、東京バレエ団の若きプリンシパル柄本弾など若手が出演。オーケストラはおなじみの神奈川フィルコンサートマスターの石田泰尚によるソロやバレエとのコラボレーションも要チェック。めくるめくる名曲&名場面を堪能し、幸せな気持ちで2017年をお迎えください。

2016年12月29日(木) 15:00
(大ホール)
全席指定 S 7000円 Sペア 13000円
A 5000円 B 4000円 C 3000円
学生(24歳以下・枚数限定) 2000円



が〜まるちよば サイレントコメディ JAPAN TOUR 2016

KAAT神奈川芸術劇場

あの純愛物語が帰って来る！ 前回ツアーでの上演から7年、世界が待ち望んだ再演。が〜まるちよばの「街の灯」
あなたの心に一輪の花をお届けします…。



2016年12月17日(土) 18:00・18日(日) 14:00
(ホール)
全席指定 S 5500円 A 4800円
tvkチケットカウンター 045-663-9999



川瀬賢太郎 ©Yoshinori Kurosawa

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会 県民ホールシリーズ ベートーヴェン「第九」

神奈川県民ホール

楽聖ベートーヴェンが交響曲の番号を重ねるごとに成し遂げた音楽的成果は交響曲第9番で時代と距離を超える全世界的、全時代的品格を併せ持つ不滅の名曲となりました。神奈川フィルが誇る若き常任指揮者による歓喜の響きを体感しつつ年末をしめくくってください。



2016年12月3日(土) 15:00 (大ホール)
出演:川瀬賢太郎(指揮)
秦 茂子(ソプラノ) 林美智子(メゾソプラノ)
升島唯博(テノール) 宮本益光(バリトン)
神奈川フィル合唱団
ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」
全席指定(一回券)
S 7000円 A 5500円 B 4000円
神奈川フィル・チケットサービス
045-226-5107



キエフ・バレエ 「白鳥の湖」全3幕

神奈川県民ホール

140余年の歴史を誇り、ポリシヨイ劇場マリンスキー劇場とともに旧ソ連三大劇場とも称されるキエフ・バレエが来日します。ワガノフ・メンソッドに基づく正統派ロシア古典バレエの伝統を持つキエフ・バレエ。美しくも優しい愛の物語「白鳥の湖」にとつてご期待ください！

2017年1月14日(土) 15:00 (大ホール)
原振付:M.ブティバ L.イワノフ F.ロプホフ
振付・演出:V.コフトゥン
出演:
オレシア・シャイターノワ(オデット/オディール)
ミキタ・スホルコフ(ジークフリート王子)
キエフ・バレエ ウクライナ国立歌劇場管
S 14000円 A 12000円 B 10000円
C 8000円 D 6000円
神奈川芸術協会 045-453-5080



2017年1月8日(日) 16:00
(大ホール)
「ライモンダ」3幕より祝典の場
演出・振付:堀内 充
「コッペリア」全幕
演出・振付:石井竜一
指揮:御法川雄矢
演奏:俊友会管弦楽団
指定席 SS 8000円 S 7000円
A 6000円 B 5000円
自由席 C 3000円

日本バレエ協会関東支部 神奈川ブロック第33回自主公演 「ライモンダ」3幕より「コッペリア」全幕

神奈川県民ホール

今回の公演は、幕開けに「ライモンダ」の3幕と神奈川ブロックとしては久しぶりとなる「コッペリア」の全幕公演です。ライモンダは大阪芸大で准教授を務める堀内充演出。振付家として国内外で活躍する石井竜一にご期待ください。コッペリアの演出・再振付は石井竜一。夏の公演で同作品の3幕だけを上演し、好評を得て今回の全幕公演となります。皆さまのご来場をお待ちしています。

音楽堂ニューイヤー・コンサート クレメンス・ハーゲン(チェロ) & 河村尚子(ピアノ) デュオ・リサイタル

神奈川県立音楽堂



河村尚子

©Hirofumi Isaka



クレメンス・ハーゲン

©武藤 章

2017年1月9日(月・祝) 14:00
 シューマン: 5つの民族風の小品集 作品102
 ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第2番 ト短調 作品5-2
 ラフマニノフ: チェロ・ソナタ 短調 作品19
 全席指定 一般6000円 学生(24歳以下)3000円

世界最高峰の弦楽四重奏団「ハーゲン・クアルテット」のメンバーで世界中の演奏家から尊敬の眼差しを向けられるチェリスト、クレメンス・ハーゲンと河村尚子のデュオ・リサイタルに期待が高まっています。

「河村尚子さんとともに神奈川県立音楽堂で2017年のオープニングを飾れることを大変嬉しく思います」と語るハーゲンが河村と共演するのは、これが3度目。「自由な演奏と時間のとらえ方―河村さんとは、同じイメージを共有できる。また、ピアノとチェロの響き

を理解し、一つに調和させる力を持っている」今回のリサイタルでもチェロとピアノそれぞれの魅力を存分に味わえるよう河村が選曲。とくにラフマニノフのチェロ・ソナタは、二人の共演では毎回取り入れられ好評を博しているプログラム。「注意深く、理解の深い日本のみなさまの前で演奏できることを楽しみにしています」

ハーゲンのインタビュー全文と二人のメッセージ動画が、WEB版PRESSにてご覧いただけます。



神奈川県立音楽堂が早くも来年のラインナップの目玉公演を2種類のセット券として12月に発売します。一つは人気ヴィルトゥオーソ・シリーズから室内楽をセレクトした「ヴィルトゥオーソ室内楽セット券」。ナタリー・シュトゥッツマン、ハーゲン・クアルテット、アンサンブル・ウィーンIIベルリンの3公演がセットに。そして来年生誕450年を迎えるモンテヴェルディの大作をセットにした「モンテヴェルディ・セット券」。

イタリア・バロックの雄リナルド・アレツィサンドリーニ指揮 コンチエルト・イタリーアーンの演奏による「聖母マリアの夕べの祈り」と、日本が誇るバッハ・コレギウム・ジャパン(鈴木優人指揮)によるオペラ「ボッペアの戴冠」(演奏会形式)の2公演。どちらも、単独券に先行して期間限定で発売。一般券およびシルバー券を単独で購入するより割安となっております。いち早く話題の注目公演をチェックするチャンス。お見逃しなく！

photo: Karl insky



名人芸に酔わせるアンサンブル・ウィーン=ベルリン



コンチエルト・イタリーアーンは音楽堂初登場

神奈川県立音楽堂 2017年ラインナップから セット券発売

神奈川県立音楽堂



©Simon Fowler



ナタリー・シュトゥッツマンはピアノ五重奏の伴奏によるシューベルトの歌曲を予定

■ヴィルトゥオーソ室内楽セット

- ①ナタリー・シュトゥッツマン コントラルト・リサイタル 2017年5月13日(土) 15:00
- ②ハーゲン・クアルテット(弦楽四重奏) 2017年7月2日(日) 14:00
- ③アンサンブル・ウィーン=ベルリン(木管五重奏) 2017年9月29日(金) 19:00

■生誕450年 モンテヴェルディ・セット

- ①リナルド・アレツィサンドリーニ指揮 コンチエルト・イタリーアーン
モンテヴェルディ:「聖母マリアの夕べの祈り」(日本語字幕)
2017年6月3日(土) 16:00
- ②鈴木優人指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン
モンテヴェルディ:「ボッペアの戴冠」(演奏会形式)(日本語字幕)
2017年11月25日(土) 16:00

両セットそれぞれ15300円(限定100セット 売切れ次第終了)
販売期間 2016年12月10日(土)10:00～25日(日)

2017年3月18日(土)・19日(日) 14:00 (大ホール)

演出・装置・照明・衣裳:勅使川原三郎

指揮:川瀬賢太郎

出演:18日/19日

ザラストロ:大塚博章/清水那由太 夜の女王:安井陽子/高橋 維

タミーノ:鈴木 准/金山京介 パミーナ:嘉目真木子/幸田浩子

両日/パバゲーノ:宮本益光 パバゲーナ:醍醐園佳

侍女I:北原瑠美 侍女II:磯地美樹 侍女III:石井 藍

弁者&神官I:小森輝彦 モノスタス:青柳素晴 神官II:升島唯博

武士I:渡邊成威 武士II:加藤宏隆

ダンス:佐東利穂子 東京バレエ団

合唱:二期会合唱団

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 S 13000円 (Sペア24000円) A 10000円 B 7000円

C 6000円 D 4000円 E 3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

特設サイト www.kanagawa-kenminhall.com/mateki/神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2017
モーツァルト「魔笛」

神奈川県民ホール

[指揮]
川瀬賢太郎
©Yoshinori Kurosawa[演出・装置・照明・衣裳]
勅使川原三郎
©Norifumi Inagaki

待ってください。

ワールド「魔笛」に、どうぞご期待ください。

毎回極上の舞台をお贈りしている共同制作オペラ・シリーズ。今回はモーツァルト最晩年の傑作「魔笛」を上演します。

演出はダンサーとして演出家として、また美術・照明・衣裳などを自ら手掛ける美術家として、独自のセンスで世界的に高い評価を得ている勅使川原三郎、指揮には「渡邊暁雄音楽基金」音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞、第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞、第65回横浜文化賞文化・芸術奨励賞を次々と受賞した若きマエストロ川瀬賢太郎を迎えます。出演は歌唱力・演技力ともに優れた実力派歌手陣、そして勅使川原作品のソリストとして国際的に活躍する佐東利穂子と東京バレエ団の精鋭16名のダンサーたち。日本語ナレーションが入ることにより、初めて「魔笛」を観る方にもわかりやすい演出となっています。大小さまざまなサイズの金属リングが浮遊する美しい舞台装置、幻想的な照明など、オペラとダンスが融合するテシガワラ・ワールド「魔笛」に、どうぞご期待ください。

ミュージカル「オペラ座の怪人」

KAAT 神奈川芸術劇場



photo:堀勝志古

仏作家ガストン・ルルーの同名小説を基にしたミュージカル「オペラ座の怪人」。1988年の東京初演以来、総公演回数6,700回以上を誇る人気作です。甘美な音楽と豪華絢爛なステージでお届けする劇団四季の代表作を、横浜公演にてお楽しみください。

[2017年3月25日開幕] (ホール)

2017年3月25日(土)~6月30日(金)公演分

出演:劇団四季

11月20日(日)午前10時前売開始

全席指定 S、サイドS 10800円

A、サイドA 8640円 B、サイドB 6480円

C、サイドイス付立見席 3240円

Parco Produce
ミュージカル「キャバレー」

KAAT 神奈川芸術劇場



ミュージカル史上に輝く傑作を松尾スズキ演出で10年ぶりに再演! 新たなキャストを得て、もっとエロティックに、もっと猥雑に、さらに愛おしく、そして哀しく……。松尾スズキの「キャバレー」が再び幕を上げる! どうぞご期待ください。

2017年1月26日(木)~29日(日)(ホール)

台本:ジョー・マステロフ 作曲:ジョン・カンダー

作詞:フレッド・エプ 翻訳:目黒条

上演台本・演出:松尾スズキ

出演:長澤まさみ 石丸幹二 小池徹平

小松和重 村杉暉之介

平岩紙/秋山菜津子 他

全席指定 S 12500円 A 10000円

夕暮れ社 弱男ユニット 演劇公演
「僕たちは、世界を変えることはできない」

KAAT 神奈川芸術劇場



2006年、京都造形芸術大学の卒業制作として執筆した未上演作品を、新作オリジナルとして書き直し上演します。「戦争は芸術で止められる」という問題に真っ向勝負を挑む本作。

また、Mゲキ→ネクストに選出され、三重県での2週間の滞在制作を経て三重・京都をめぐり、KAATが最終都市となります。どうぞご期待ください。

2017年1月14日(土)・15日(日)(大スタジオ)

作・演出:村上慎太郎(夕暮れ社 弱男ユニット)

全席指定(当日「座席指定券」と引換え)

前売 一般3500円 学生3000円

当日 一般4000円 学生3500円

知れば、
知るほど、
好きになる

美術の小箱

漆の時間

漆の時間はとても長い。

漆は古いものでおよそ1万年前、縄文時代の出土品がある。その頃から人に用いられてきた漆は、今でこそ日常生活に馴染みの素材とは言えないが、土と同じくらい古くから日本人と密接に関わってきた素材といえる。

数年前、福島県立博物館で、赤色の漆が塗られた一寸程の小さな糸玉

が数点展示されているのを見た。それは、漆を塗った糸を数本の束にして結んだもので、縄文時代に装身具の一部に用いられていたようだ。縄文時代のもが残っているだけでも驚きなのだけれど、その漆の糸玉の中はパイプ状で空洞になっていると説明文に書いてあった。

長い間地中にあったことで中の糸は

分解され土に還り、漆が塗られていた部分だけが残ったのだろう。漆が塗られて頑丈に見えた糸玉に、一転、とても繊細に年月を体現する表情が見えた。

生き物と同じように、素材もいろいろな時間を持っている。それぞれの時間軸のどこかで関わり、そして離れてゆく。

こうして時間でとらえると、漆は当たり前のように僕より長生きで、目の前の漆もすでに長い時間を生きている。漆の時間軸の真ん中あたりの点で僕たち作家は漆に関わっている。

文：染谷 聡(漆作家)

1983年生まれ。京都市在住。12/19から神奈川県民ホールギャラリーにて開催する「5Rooms—感覚を開く5つの個展」に出品(詳細はP6-7)



(みしぎ) 2014年 染谷 聡 漆、枝、フォルムなど

photo: Rui Mizuki

楽器ミュージアム

スネアドラム(小太鼓)

歯切れよい響きが魅力のスネアドラムは、吹奏楽やオーケストラはもちろんジャズやロックでも必須の打楽器。胴の上下に皮(現在はほとんどがプラスチック製)を張り、さらに下面の皮にコイル状の細い金属線を20本ほど束ねた「響き線」を付けて、小さなボディからパワフルかつ細やかにリズムを刻みます。

皮を叩く撥は片側の先端を球や豆形に削った木製で、左右ともに上から包むように構える持ち方と、左手を右手とは逆向きに親指と人差し指で挟み込むように持つ「トラディショナル」と呼ばれる持ち方があります。左右非対称で不自然にも見える「トラディショナル」は、かつて軍

隊のなかでスネアを肩から右に吊り下げ打面も右に傾けていたため、左手からでも叩きやすいように考え出されたものでした。

スネアドラムの元となった太鼓は羊腸製の響き線を1、2本付けた中世の「テイバー」という太鼓で、当初は行進などの合図用に使われていましたが、時代を経て改良が進み、オーケストラの重要なパートになっていきます。20世紀前半には2小節のリズムをスネアドラムが冒頭から最後まで叩き続けるラヴェルの「ボレロ」が発表され(1928年)、話題となりました。

今日、さまざまな音楽ジャンルで使われるスネアドラムは、撥の形状(ジャズで多用されるワイヤーブラ

シなど)や胴の素材、サイズの違いなどで楽器ごとに異なる響きの特徴を持っています。

ステージでスネアドラムをみかけたら、じっと観察しながら耳を澄ますのも一興です。

胴の標準的なサイズは直径14インチ(約35.6センチ)、深さ5 1/2インチ(約14センチ)オーケストラやドラムセットではスタンドの上に置いて叩きます





イラスト：遠藤裕喜奈

ピョートル・チャイコフスキー 「エフゲニー・オネーギン」

「白鳥の湖」、「眠れる森の美女」、「くるみ割り人形」など、バレエ音楽で名高いチャイコフスキーは、オペラにおいてもロシアを代表する作曲家です。オペラ『エフゲニー・オネーギン』は文豪プーシキンの小説を原作とし、中でも第1幕の「手紙の場」は屈指の傑作です。

田舎貴族の娘タチャーナは、都会から来た青年オネーギンに恋します。はしたないと知りながら手紙を書きますが、オネーギンに冷たく拒否されます。数年後、美しい公爵夫人となったタチャーナは、再会したオネーギンから求愛されますが、夫への貞操を選ぶのです。

1877年春、『エフゲニー・オネーギン』の作曲を始めた頃、チャイコフスキーに一通の手紙が届きます。モスクワ音楽院の元生徒アントニーナ・ミリュエコヴァ嬢からのもので、熱烈な愛の告白でした。元来、女性に興味があるとはいい難いチャイコフスキーですが、『エフゲニー・オネーギン』に没頭するあまり、アントニーナ嬢にタチャーナを重ねあわせ、オネーギンのように冷たい態度はとるまいと、彼女の家を訪ねます。「あなたを愛してはいない

が、感謝を忘れない忠実な友人となる」と最初の手紙から3か月にも満たない7月に結婚します。同性愛者であることを隠すためだったともいわれています。

そんな結婚が上手くいくはずはなく、9月にはモスクワ川に浸かって肺炎にかかり死のうと試みますが失敗。弟や友人に離婚の手続きを任せ、翌月サンクトペテルブルクへ逃げ出します。約2か月半の結婚生活でした。

チャイコフスキーは海外を点々とし、翌1878年2月に『エフゲニー・オネーギン』を完成させます。チャイコフスキーと同じ時代を生きる生身の人間を描く傑作オペラの誕生です。

チャイコフスキーは、アントニーナと正式には生涯離婚できませんでした。アントニーナはチャイコフスキーの死後20年以上もの間精神病院で過ごし、1917年一人寂しくこの世を去ります。告白の手紙で結婚を手に入れたもう一人のタチャーナも幸せにはなれなかったのです。

ピョートル・チャイコフスキー Pyotr Tchaikovsky (1840～93)
ロシアの作曲家。法務省に勤務の後、ロシア初の音楽学校(後のサンクトペテルブルク音楽院)に入学。卒業後、新たに設立されたモスクワ音楽院の教師となる。代表作は「ピアノ協奏曲第1番」「交響曲第6番 悲愴」など。

*アレクサンドル・プーシキン Alexander Pushkin (1799～1837)：ロシアの詩人、作家。代表作は戯曲「ボリス・ゴドゥノフ」、小説「スベードの女王」など。

山本理顕の 街は 舞台だ

人が住まない都市は都市ではない みなとみらい21



タワーマンションが林立する「みなとみらい21」住宅地区



高い壁や生け垣で覆われているマンション



建設中のランドマークタワー 1991年11月
横浜市史資料室所蔵資料

WEB
+a!

「みなとみらい21地区」には100メートルの高さで統一されたタワーマンション群がある。3千戸を越す住宅地区なのにひっそりとしている。1階部分が軒並み高い壁や生け垣で覆われているからである。駐車場への入口とオートロックで厳重に管理されているパブリック・エントランスが、

「みなとみらい21計画」は1965年に生まれた。当初の計画では就業人口19万人居住人口1万人。みなとみらい地区の総面積186haに比べて居住人口が極端に少ない都市計画だった。経済成長だけを前提にして、ひたすら発展を指すとした60年代の都市計画がいかに無理筋だったか。住む人の生活が一切考慮されていない。

リーマンショックのずつつと前から「みなとみらい21」開発は遅れに遅れている。未だに思うように土地の買い手がみつからないのは、日本の経済的環境が悪化したからではなく、当初の計画があまりにも偏ったものだったからである。横浜市は計画の抜本的な見直しをすべきだ。「みなとみらい21」に住む人を中心にした新たな都市の姿を計画する絶好のチャンスなのだ。人びとの活動の舞台になるような都市は、そこに住む人びとがつくりだすものなのである。人が住まない都市は都市ではない。

住所：神奈川県横浜市中区西区、中区
交通：横浜高速鉄道みなとみらい線
「みなとみらい駅」「新高島駅」

企画・監修：山本理顕 建築家



©Jake Walters

1945年生まれ。71年、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。東京大学生産技術研究所原研究室生。73年株式会社山本理顕設計工場を設立。2007年、横浜国立大学大学院教授に就任（11年）。11年、横浜国立大学大学院客員教授に就任（13年）。

それぞれのマンションの唯一の街路への開口部である。街路にあまり人の姿はない。超高層ビルの谷間を貫く広い道がまっすぐに伸びているだけだ。昼間でも夜でもこんなところを歩くのはいやだ。楽しくない。これが横浜市の計画した未来都市の住宅地区なのである。

(談)

かながわ
芸 ● 能
歳時記

800年の時を越え、
幽玄の世界へ誘う

鶴岡八幡宮の御神楽

(鎌倉市雪ノ下／鶴岡八幡宮／12月)



篝火が焚かれ奉奏される「人長の舞」

*御神楽・神楽⇨神事の時に神前で奏される歌舞。民間で行われるのが「里(さと)神楽」で、宮中で行われるものを「御神楽」という。鶴岡八幡宮の神楽は宮中から伝えられたものなので、御神楽と呼ばれる。
*宮人(みやびと)・宮中に仕える女官のこと。
*人長(にんじょう)・御神楽の舞人の長のこと。

住所：神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-31
交通：江ノ島電鉄・JR鎌倉駅東口出口から徒歩11分
日時：毎年12月16日 17:00～
お問合せ：鶴岡八幡宮 0467-22-0315

WEB
+α!

鶴岡八幡宮の御神楽は、毎年12月16日の「御鎮座記念祭」にて奉仕されます。

建久2年(1191)3月、町屋から発生した火災により、八幡宮の社殿はここでとく焼失。源頼朝公は直ちに現在の上下宮の姿に再建し、同年11月21日に改めて源氏の氏神である石清水八幡宮の御祭神を勧請しました。その時、京都より宮中の楽人を招き御神楽を執り行ったことが始まりとされ、「吾妻鏡」には「すぐぶる神感の瑞相あり」と記されています。現在では陰暦を陽暦に換算し12月16日に行われています。

当日は午前に本宮にて「御鎮座記念祭」が行われ、夕刻になると舞殿北庭にて御神楽が執り行われます。神楽歌にはじまり、4人の巫女による「宮人*の舞」や、宮中武官衣装の神職による「人長*の舞」が奉奏されます。800年の時を越え、篝火に照らされ暗闇に浮かび上がる姿は、見るものを幽玄の世界へと誘います。

監修：神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力・写真提供：鶴岡八幡宮

more! カナガワ

神奈川県立近代美術館 葉山

コレクション展2「光、この場所で」／特集展示 坂倉新平
企画展「陽光礼讃 谷川晃一・宮迫千鶴展」と同時開催のコレクション展では「光」をテーマに、李禹煥、高松次郎、松本陽子、小川待子、宮脇愛子、田淵安一、青山義雄、川端実、猪熊弦一郎等1960年代以降の作品を展示。一色海岸に面した展示室では坂倉新平(1934-2004)の作品を特集展示します。降り注ぐ秋から冬への光に感応する作品たちの姿をお楽しみください。
2016年10月22日(土)～2017年1月15日(日)(祝日除く月曜と年末年始休館)
www.moma.pref.kanagawa.jp TEL.046-875-2800

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 みなとみらいシリーズ 第326回

2017年1月21日(土)14:00 横浜みなとみらいホール
指揮：川瀬賢太郎 フルード：上野星矢
J.S.バッハ：幻想曲とフーガ／ハチャトゥリアン：ヴァイオリン(フルード)協奏曲／ラフマニノフ：交響曲第3番
S 6000円 A 4500円 B 3000円 (各種割引あり)
www.kanaphil.or.jp TEL.045-226-5107

神奈川近代文学館

スポット展示「佐瀬蘭舟旧蔵ほか夏目漱石資料～近年の収蔵資料から」

歌人・佐瀬蘭舟にあてた夏目漱石、金子薫園などの書簡や、漱石の短冊、購入資料など〈夏目漱石特別コレクション〉にあらたに加えた資料などを紹介します。同時開催「文学の森へ 神奈川と作家たち」第3部 太宰治、三島由紀夫から現代まで。
2016年12月3日(土)～2017年1月22日(日) (祝日除く月曜と年末年始休館)
一般250円 他 www.kanabun.or.jp TEL.045-622-6666

神奈川県文化課

神奈川県地劇ミュージカル

2017年1月29日(日)14:00～17:00 神奈川県立青少年センター
公募により選出されたミュージカル3～4団体により、「地劇*」の公開コンペを行います。*各地の歴史・伝統・文化に根差した地域発の演劇を意味する「地劇」は、神奈川県マグカル・テーブルの座長を務めるマーケティング・コンサルタントの西川りゅうじん氏による造語です。
入場無料 TEL.045-210-3806

My Roots My Favorites

幸田浩子(オペラ歌手)



いつもそばに、

モーツァルトがいてくれた。

WEB
+α!

たくさんの出会いや出来事のピースが複雑に絡み合っ、今の自分の音楽人生が築かれている気がします。その大切な成長や経験の際、いつもそばにモーツァルトがいてくれたと感じています。

両親ともに音楽好きで、家には音楽が溢れていました。ピアノもヴァイオリンもクラリネットも習ったけれど、どれも下手っぴで。音楽を表現するには、口ずさむことの方がシンプルで自然でした。そんな時よく「トルコ行進曲」のメロディなども歌っていました。

大学院生の時、定期演奏会で初めてソロを歌ったのもモーツァルトの「レジーナ・チェーリ」です。とてもとて厳しかった先生が初めて褒めてくださいました。

ウィーンに暮らすことになったきっかけもモーツァルト。イタリア留学中に、ウィーン・フォルクスオーパーの「魔笛」のオーディションを受けました。その際「魔笛」公演だけではなく、専属になりませんか、とお声をかけていただいたのです。

モーツァルトの息吹があらこちらに感じられる

ウィーンの街からは、たくさんのイメージや喜びをいただきました。フィガロ・ハウス*、アン・デア・ウィーン劇場*、そしてわたしの借りていたお部屋の大家さんは、なんとモーツァルトの生家の大家さんのご子孫でした。

初めての本格的なCDレコーディングもプラハでの「モーツァルト・アリア集」です。

2015年東京での宮本亜門さん演出による「魔笛」。たくさんの美しい瞬間を頂きました。子どもたちのチャリングな演技と澄んだハーモニーも忘れられません。

そして2017年、神奈川県民ホールでの「魔笛」です。きっとまた新たなキラキラとした出会いと発見をいただくはず。今からとても待ち遠しく、愛おしく感じています。(談)

幸田浩子 Hiroko Kouda

数々の国際コンクールで上位入賞後、オペラの本場欧州の主要歌劇場で活躍し、名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約。帰国後は主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルの他、テレビ、ラジオのMC等多多彩な活動を展開。2017年3月神奈川県民ホール「魔笛」にバミーナ役で出演予定。二期会会員。

*フィガロ・ハウス:モーツァルトが「フィガロの結婚」を作曲した家。1784年から1788年まで住んだ。現在はモーツァルト博物館。
*アン・デア・ウィーン劇場:「魔笛」の台本を書き、パヴァーノを演じたエマヌエル・シカネーダーがつくった劇場。1801年落成。

REVIEW

白井 晃演出 「マハゴニー市の興亡」

2016年9月6日(火)～22日(木・祝) KAAT神奈川芸術劇場<ホール>

作:ベルトルト・ブレヒト 作曲:クルト・ヴァイル 翻訳:酒寄進一
演出・上演台本・訳詞:白井 晃 音楽監督:スガダイロー 振付:Ruu
出演:山本耕史 マルシア 中尾ミエ 上條恒彦 古谷一行 他



Photo: 二石友希

「三文オペラ」で有名なブレヒト&ヴァイルの傑作「マハゴニー市の興亡」は、欲望だけが支配する街、マハゴニー市の隆盛と衰退を描いた物語。痛烈な皮肉に満ちた問題作が、KAAT芸術監督・白井晃演出のもと、スガダイローの音楽とRuuの振付により、新たな音楽劇として蘇りました。山本耕史、マルシアをはじめとするキャスト陣は、難曲を見事に歌いこなし、マハゴニー市に生きる人々を鮮やかに表現。舞台上に設けた「マハゴニー市民席」は、観客もまた市民として作品に参加することの効果も存分に発揮し話題となりました。KAATの特性を最大限に活かした演出は、先鋭的な表現の模索を掲げる劇場の挑戦を示すとともに、現代社会に生きる私たちの今を見つめ直す機会となったのではないのでしょうか。

お客様の声

自分の人生を悔いのないように生きたい。けど、欲望のままに生きるとう身を滅ぼす。相対する現実のなかでどう生きていくべきなのか、考えさせられる作品でした。(20代女性)

参加型の市民席を体験して、本当に自分がマハゴニー市にいるような感じがしてとても楽しめました。(30代女性)

音楽にじびれました。耳に残る何ともいえない「違和感」がクセになります。とにかく音楽・歌・バンドの演奏がもっと聴きたいと思わせるものでした。動き、たたずまいで引きつける演者さんが多く面白かった。(40代女性)

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/株式会社浅岡装飾/アサヒビール株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス株式会社NHKアート/株式会社勝烈庵/公益財団法人神奈川興結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社/神谷コーポレーション株式会社カヤバシステムマシナリー株式会社/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社株式会社サンナイオートメーション/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニュージェランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社横浜信用金庫/弁護士法人横浜/パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーソリューションズ(匿名:3社)

永年個人賛助会員 江田真子/川村恒明 **個人賛助会員** 畔上 譲/岩間良孝/岡田博子/長田大徳/黒瀬博晴/橋本尚子(匿名:1名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川ヨト自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/野村證券株式会社横浜支店/株式会社富士住建/三菱地所株式会社

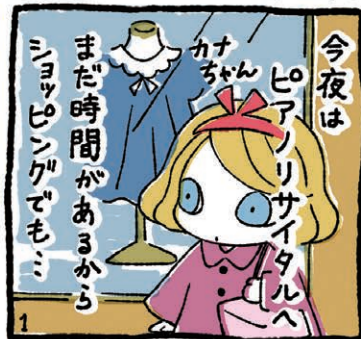
(敬称略 2016年10月15日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人 眼鏡

「クロークをもっと利用しよう」

え・ユキナ



*貴重品など、お預り出来ない荷物もあります。

Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メルマガ無料配信
チケットの先行予約が可能
登録は WEBで! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET



神奈川トヨタは、地域社会に貢献する活動の一環として
「かながわ水源の森林づくり」に企業参加しています。



PRIUS

神奈川トヨタ

神奈川トヨタ本社お客様相談テレホン
☎ 0120-212119
<http://www.kanagawatoyota.com>

編集後記

長い長い残暑をやりすごしてようやく秋が...と思っていたら、もう年末・クリスマスのお話。地球の公転周期短くなって? ちょっと早いですが皆様よい新年をお迎え下さい。(井) クリスマスにはクリスマスの、年末年始には年末年始の、そのシーズンならではの公演があります。芸術鑑賞でより季節感をお楽しみください。(倉)